

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月9日（最終）

2003年9月7日現在：

引き続き高温気象となり、降雨は殆どの地区で記録されなかった。この時期の最高気温は平均60台後半から70度F台であるが、各地で90度以上を記録した。土壌水分は更に悪化し、Topsoilの80%、Subsoilの72%が“Very Short”の状態と成った。

冬小麦の収穫は完了した。

急激に登熟した春小麦の収穫は主産地では略終了し、北部の一部を除き全州の97%の圃場で収穫は完了した。昨年同期での収穫完了は全州の56%であった。

2004年産の冬小麦の播種が開始された。土壌水分不足で例年より播種の開始は1週間以上遅くなっている。

8月1日付けUSDAの冬小麦収穫量予想では、単位収量は7月1日予想から変化が無かったが、春小麦の予想では5.0bu/acre減少し、24.0bu/acreなった。7月の高温・乾燥が単位収量を落とす結果となった。

土壌水分状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Topsoil (%)				
Very short	80	79	21	35
Short	19	20	30	36
Adequate	1	1	47	28
Surplus	0	0	2	1
Subsoil (%)				
Very short	72	70	36	39
Short	27	25	38	40
Adequate	1	5	25	21
Surplus	0	0	0	0

春小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Harvested (%)	97	92	56	80

2004年産冬小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Planted (%)	2	0	7	4

Source: Montana Agricultural Statistics Service

モンタナ州小麦作付面積：USDA2003年3月1日発表

冬小麦の作付け増加と破棄圃場の減少見込みより、春小麦（HRS）の播種面積は減少すると見込まれた。

	Area Planted 1000 acres			
	2001 Crop	2002 Crop	2003 Crop	2003/2002
Winter wheat	1,300	1,450	1,850	128%
Durum wheat	510	590	600	102%
HRS wheat	3,550	3,750	3,100	83%

2003年8月1日付け農務省発表の冬、デュラム、硬質赤色春（HRS）小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	750	1,750	28.0	37.0	37.0	21,000	64,750
Durum	565	640	23.0	29.0	25.0	12,995	16,000
HRS	3,450	2,800	22.0	29.0	24.0	75,900	67,200

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。  
小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)